

プログラムご参加のみなさま

新型コロナウイルス現況を鑑みたひの自然学校運営方針について

いつもひの自然学校事業にご参加いただきありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響を受け始めた 2020 年 6 月にひの自然学校の実施ガイドラインを策定し始め、ここまで子どもやリーダーを含め、のべ 3,222 名（2022/3/1 時点）と共に活動してきました。この間、参加者やリーダーのみなさんには特に慎重に体調管理や健康観察にご尽力いただきました。時には当日に集合場所でお休みいただくケースもあり、50 名以上の子どもたちやご家族に涙を飲んでもらいました。直前にコースを取りやめ、宿泊予定のお宿にも理解していただくこともありました。この事業に係る全員の不断の努力によって、ほぼ「コロナ前と同等の活動内容や運営方法」を貫き、幸いなことに 1 件のクラスターも発生せずにここまで来ることができています。

この間事務局では、常に「感染予防策 vs 子どもたちがこの時期に体験から得られる価値」とのバランスを取ることに注力をしてきました。そこで、これまで積みあがったケースと現在流行しているウイルスの特性、社会的現況を鑑みて、ひの自然学校では引き続き「コロナ禍にあっても、子どもたちが得られる体験の価値を最大限に得られる機会」を創出していくことに挑みたいと考えています。

基本的な方針は「継続した厳しいスクリーニングにより入り口を狭め、コロナ前同様の体験機会を提供する」ことです。そのために以下の方法をみなさまには引き続き確認、ご協力いただきたくお願いいたします。

◆けんこうチェックリストによる、参加者および接触者のスクリーニングを実施する（別紙健康チェックリスト参照）

- ・当日の健康状態が良好である（感冒症状および発熱状況を調べます）
- ・過去 10 日間の健康状態に異常がない（感冒状態の記録を伺います）
- ・イベント当日から起算して過去 10 日以内に、接触者に新型コロナウイルス陽性者がいない
- ・イベント当日から起算して過去 10 日以内に、同居家族に感冒症状を示す人がいない

※上記項目に異常がある場合は、参加を見合わせていただいています。

※合理的条件によっては主催者判断で受入れを可とする場合があります。ご心配な場合はまずご相談ください。

◆活動中は新型コロナウイルスの感染経路を参加者・スタッフが各自意識し行動する。（飛沫・接触・エアロゾル）

飛沫：不特定の人々と交わる空間においては各々が飛沫距離以上の距離を置く。

飛沫範囲内に行動が伴う場合はマスクを着用する。（※）

接触：飲食時や顔の粘膜に触れる前には手指の消毒または手洗いを行う。

エアロゾル；室内である場合は必要に応じた換気をする。可能な場合は CO2 チェッカーにより空気の循環を確認する。

【（※）マスクの使用について】

スクリーニングされたキャンプの集団内においては、プログラム進行中にマスク着用を指定しない場合があります。

（移動中の公共交通機関や不特定多数の人と飛沫圏内で交わる室内空間等は除く）

【活動中止・活動自粛規定】

- ・日野市内全域が休校状態にあるとき
- ・日野市内の公共施設が閉鎖状態にあるとき
- ・緊急事態宣言下において、ひの自然学校が類する休業要請が政府または東京都から発出されたとき
- ・その他事業部長が必要性を認めた時

【活動後 10 日以内に参加者・スタッフが新型コロナウイルス陽性判定を受けた場合の対応】

※保健所の指導または客観的条件から、ひの自然学校イベントが感染に起因していると考えられる場合

①新型コロナウイルス罹患者は、ひの自然学校へその事実を報告

②ひの自然学校は、当該コースの参加者へ情報提供

③連絡を受けた他の参加者・スタッフ本人と同居家族は事業終了後 10 日間は健康観察に留意し、体調不良時は積極的に受診、自主的な PCR 検査または有効な抗原検査実施を考慮する。

④ひの自然学校は、保健所からクラスター認定・濃厚接触者指定の連絡があった際には、各参加者へ都度情報を共有する。

※保健所からの行動自粛指示等が通知されるまでの行動は、各ご家庭において判断をお願いします。

（同時期に複数の感染者が発生した場合を除き、ひの自然学校事業が感染経路になったのか、他の感染経路からの感染かについては判断をすることが困難であるため）

【プログラムご参加にあたって】

上記運営方針と、参加基準をみなさまにこれまで通り守っていただくことで、事業における感染の確率を軽減するとを実現してきました。しかし、衣食住を共にするキャンプ活動の特性や、コロナ前同様の活動スタイルを維持することによって、感染が発生した際にはクラスター化する可能性もあります。

ご家庭におかれましても、森のようちえん・森の冒険学校・子ども会ぼけっと・キャンプ活動に「参加する＝クラスターに巻き込まれる可能性がある」ことを共通の認識としていただき、都度参加をご検討いただければ幸いです。

今後も全ての関係者のみなさんとのいいコミュニケーションと努力によって、子どもたちに「いましかできない、こういうご時世だからこそ体験させてあげたい原体験の機会」を支えていきたいと考えています。

一日も早くウイルスへの対応と私たちの生活が安定化される日が訪れることを願っています。

引き続きご理解ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

【付則】

本対応は、新型コロナウイルスにおける最新知見のアップデートや、行政からの指導、クラスター事案発生などの場合には都度運営方針を見直し、必要に応じた変更をしていきます。

本件に関するご意見お問い合わせは、下記担当までお寄せください。

【本件についてのお問い合わせ】

（公財）社会教育協会ひの社会教育センター

ひの自然学校 担当 寺田・井上・若泉

042-582-3136

outdoor@hino-shakyo.com